

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座

工原 No.7-1【総合原価計算の基礎&純粹先入先出法】

収録日：平成 25 年 8 月 11 日

編集日：平成 27 年 5 月 28 日

【出題実績】

日商簿記 1 級過去問 特になし、 全経簿記上級過去問 特になし

ほとんどは 2 級の復習論点

純粹先入先出法が 1 級ではじめて出てきた内容

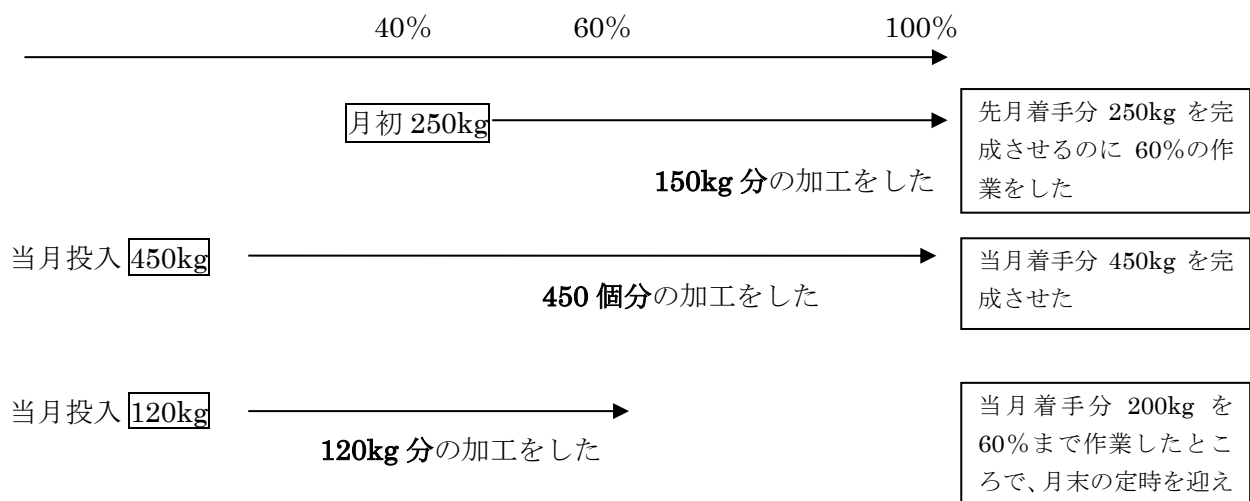
3分から7分でP100読むと言っていますが、聞くだけで結構です

加工費の取扱がポイント

<例題：次ページを確認して下さい>

		加工費		
250,000	100kg 分(250×0.4)	250,000	}	700kg
	月初完成分 150kg 分(250×0.6)	412,500		
1,980,000	当月投入完成分 450kg 分	1,237,500	}	200kg×0.6
	月末分 120kg(200×0.6)	330,000		

換算量を図であらわすと（このイメージ欲しい）



$250 + 450 + 120 =$ 当月のラインの上に存在した材料の kg 数

$150 + 450 + 120 =$ 当月の完成品換算量

<例題>

CMC 工場では、製品を大量生産しており、単純総合原価計算を用いて計算している。下記の資料に基づいて、平均法、先入先出法、純粹先入先出法を使用して、完成品原価および期末仕掛品原価を計算しなさい（端数は四捨五入）

資料

生産データ

期首仕掛品	250kg (0.4)
当期投入	650kg
合計	900kg
期末仕掛品	200kg (0.6)
完成品	700kg

原価データ

期首仕掛品	原材料費	200,000
	加工費	250,000
当期製造原価	原材料費	546,000
	加工費	1,980,000